

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 福井県大野市  
 本事業の担当部局名 大野市教育委員会事務局こども支援課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	一般メニュー							
関連事業メニュー	1.1.3 出会いの機会・場の提供に関する取組							
個別事業名	若者交流拡大促進事業					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日	事業開始年度	令和7年度			
総事業費(A)(円)	1,824,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	1,824,000			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	1,824,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	384,000	0	120,000	330,000	
	対象経費支出予定額	0	0	384,000	0	120,000	330,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金	計		
	総事業費	790,000	200,000	0	0	1,824,000		
	対象経費支出予定額	790,000	200,000	0	0	1,824,000		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0		
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通                  全ての子どもや若者、子育て世代の多様な夢や希望を尊重し、ウェルビーイングな生活を送ることができる社会の実現に向け、人のつながり、地域のつながり、社会のつながりにより、子ども・若者・子育て世代への支援を行うため、大野市では新たに「大野市子ども・若者計画」を策定した。                  その中でも、少子化対策の入口として結婚新生活にかかる経済的な負担を支援することで、結婚を望む人が安心してその選択をできるよう後押しする。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt;                  大野市の婚姻数が減少している現在、婚活で出会いを広げる施策ではなく若者同士の交流を広げるため、令和7年度に立ち上げた「結リンク～大野で永年(ええねん)界限～」メンバーを中心にイベントの実施に向けて活動する。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	若者交流(意見交換)	大野市内の企業から協議会の委員(若者)を集い、結婚や子育てに関する意見交換を行う中で、若者の出会いの創出に繋がります。 【結リンク】 メンバー:39歳までの若者20名を想定 開催回数:6回を想定					
	2	若者交流イベントの開催	若者の出会い創出のため、「婚活の場」ではなく、「若者の交流の場」としてのイベント開催に向けて地域おこし協力隊や庁内関係課・民間事業所と協力して計画・運営を行っていく。 【イベント】 参加者:福井市内の20歳～30代の若者目標100名 開催回数:1回を想定					
<p>&lt;過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)&gt;                  7年度実施中であり、結果を踏まえて、課題の分析及びそれに対する取組を検討する。</p>								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	出生率		%	5.2 (R7年度)	3.9 (R6年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			—	
	婚姻件数	件	69 (R6年度)		
	婚姻率		2.4 (R6年度)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	意見交換会の開催数	回	6 (R8年度)	—
	②	若者交流のイベント開催数	回	1 (R8年度)	—
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	—	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	若者の交流の場が出会いの創出につながったと感じた人の割合	%	60 (R8年度)	—
	⑤	メンバー間の意見交換を通じて、結婚への意識が高まったと感じた人の割合	%	40 (R8年度)	—
⑥					
⑦					
⑧					